

DA 社プレスリリース 2018 年 4 月 18 日

AI (人工知能) による対話型ロボットを開発する株式会社デジタルアテンダント (本社：東京都港区、代表取締役社長：金子 和夫、以下 デジタルアテンダント) は、株式会社ユニリタ (東証 JASDAQ、以下ユニリタ) の子会社で移動体向け IoT ソリューション事業を展開する株式会社ユニ・トランド (本社：東京都港区、代表取締役社長：高野 元、以下 ユニ・トランド) からの資本参加を受けました。(ユニリタ社リリース：<http://www.unirita.co.jp/info/press/180404-press001.html> )

今般のユニ・トランドによるデジタルアテンダントへの資本参加は、バス事業の利便性向上に向け、駅やバスターミナル・観光窓口等における双方向の情報提供サービスに AI を活用した対話型ディスプレイによる新サービス実現を、同社と共同で開発することを目的としています。

これにより、ユニ・トランドは、AI を活用した対話型接客ならびに応答サービスなどさまざまなサービス拡張と技術革新に対応したサービス進化を継続的に進化させる体制を構築できることとなります。

一方、デジタルアテンダントは対話型ディスプレイサービスを、ユニリタグループと共に取り組むことで、大規模小売店舗向けのオムニチャネル構築や公共機関向けサービス提供に於いて、ERP システム等の基幹システムと連動するトータルソリューションの提供を実現できることとなります。

デジタルアテンダントは今後更に障害者支援や次世代 SNS サービス提供も目指しており、今回の資本受け入れは、この戦略に則ったものとなります。